

せつめい文の 正しい説明をえらぼう

小2／文章を よんで、内ように あう 説明を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 こん虫の あしを よんで、正しい説明を1つえらびましょう。

こん虫の あしは 6本 あります。体は あたま・むね・はらの 3つに 分かれていて、あしは すべて むねについて います。ちょうも バッタも 同じです。

1 こん虫の あしは 6本で、むねについている。

2 こん虫の あしは 8本 ある。

3 あしは はらについている。

4 ちょうと バッタは あしの 数が ちがう。

2 こおりが とけるを よんで、正しい説明を1つえらびましょう。

こおりは あたためると 水 になります。水をもっと あたためると、湯気 になって 空気の中へ 出ていきます。つめたくすると、また こおりに もどります。

1 こおりは あたためると 水 になる。

2 こおりは あたためると かたくなる。

3 水は ひやすと 湯気 になる。

4 こおりは 何をしても かわらない。

3 こうもりの くらしを よんで、正しい説明を1つえらびましょう。

こうもりは 昼は くらい ところで ねむり、夜に とびまわって 虫を 食べます。目より 耳をつかって、まわりの ようすを知ります。

1 こうもりは 夜に かつどうする。

2 こうもりは 昼に とびまわる。

3 こうもりは 草を 食べる。

4 こうもりは 目だけで まわりを知る。

4 カエルの 育ち方を よんで、正しい説明を1つえらびましょう。

カエルは たまごから おたまじゃくしに なります。はじめは しっぽが あって 水の中 で くらしますが、やがて 足が出て しっぽが 消え、りくにも 上 げられる カエルに なります。

1 カエルは おたまじゃくしから すがたを かえる。

2 カエルは たまごを うまない。

3 おたまじゃくしには 足が ある。

4 カエルは 水の中 でしか いきられない。

せつめい文の 正しい説明をえらぼう

小2／文章を よんで、内ように あう 説明を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 たねの ちらばり方を よんで、正しい説明を1つえらびましょう。

たんぽぽの たねには わた毛が ついています。風に のって 遠くまで とんでいき、あちこちで めを 出します。こうして なかまを ふやします。

1 たんぽぽは わた毛で 風に のって たねを 遠くへ とばす。

2 たんぽぽの たねは 水に うかんで はこばれる。

3 たんぽぽは たねを つくらない。

4 わた毛は 虫を よぶための ものだ。

2 かげの むきを よんで、正しい説明を1つえらびましょう。

かげは 太陽の 反対がわに できます。朝は 太陽が 東に あるので、かげは 西に のびます。昼に なると 太陽が 高くなり、かげは 短くなります。

1 かげは 太陽の 反対がわに できる。

2 かげは 太陽と 同じ がわに できる。

3 昼の かげが いちばん 長い。

4 かげの むきは 一日中 かわらない。

3 月の 見え方を よんで、正しい説明を1つえらびましょう。

月は 日によって 形が かわって 見えます。まるく 見える 日を 満月、ほそく 見える 日を 三日月と いいます。じっさいの 月の 形は かわりません。

1 月は 日によって 見える形が かわる。

2 月は いつも 同じ形に 見える。

3 満月は ほそい 月の こと。

4 月の 本当の 形は 毎日 かわる。

4 風のはたらきを よんで、正しい説明を1つえらびましょう。

風は 目に見えませんが、木を ゆらしたり たこを あげたり します。強い 風は ものを とばす こともあります。風車は 風の 力で まわります。

1 風は ものを 動かす 力がある。

2 風は 目に見える。

3 風は 何も 動かさない。

4 風車は 水の 力で まわる。

せつめい文の 正しい説明をえらぼう

小2／文章を よんで、内ように あう 説明を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 水の じゅんかんを よんで、正しい説明を1つえらびましょう。

海や 川の 水は、太陽に あたためられて 水じょう気になり、空へ のぼります。空で 雲になり、やがて 雨となって また 地上に もどります。

1 水は すがたを かえて めぐっている。

2 水は 一度 雨になると もう もどらない。

3 雲は 水と かんけいがない。

4 雨は 空で 作られない。

2 は虫類の たまごを よんで、正しい説明を1つえらびましょう。

カメや トカゲは たまごを うみます。多くは じょうぶな からにつつまれ、あたたかい 土の中で、親が 見まもらなくても かえります。

1 カメや トカゲは たまごで ふえる。

2 カメは 赤ちゃんを うむ。

3 たまごは 水の中 しか かえらない。

4 親が ずっと たまごを だいている。

3 き温と 服そうを よんで、正しい説明を1つえらびましょう。

あつい 日は うすい 服を 着て、風を とおしやすく します。さむい 日は あつい 服を 重ねて、体の ねつを にがさないように します。

1 あつさ・さむさに 合わせて 服を えらぶ。

2 あつい 日は あつい 服を 重ねる。

3 さむい 日は うすい 服が よい。

4 服そうは き温と かんけいがない。

4 こおり・水・湯気を よんで、正しい説明を1つえらびましょう。

水は すがたを かえます。ひやすと こおりに、あたためると 湯気になります。どれも 同じ 水で、いったり きたり します。

1 水は ひやしたり あたためたり すると すがたを かえる。

2 こおりと 水は べつの ものだ。

3 湯気は 水ではない。

4 水は すがたを かえない。

せつめい文の 正しい説明をえらぼう

小2／文章を よんで、内ように あう 説明を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 音の つたわり方を よんで、正しい説明を1つえらびましょう。

音は もののふるえが 空気を つたわって 耳に とどきます。だから 空気の ない ところでは 音は 聞こえません。
水の中でも 音は つたわります。

1 音は ふるえが つたわって 聞こえる。

2 音は 光と 同じ 速さだ。

3 空気の ない ところでも よく 聞こえる。

4 水の中では 音は つたわらない。

2 しょくぶつと 日光を よんで、正しい説明を1つえらびましょう。

しょくぶつは 日光を あびて、自分で えいようを 作ります。だから 日の あたる ところの ほうが よく 育ちます。
水や 空気も ひつようです。

1 しょくぶつは 日光で えいようを 作る。

2 しょくぶつは 日光が なくても 同じに 育つ。

3 しょくぶつは えいようを 作れない。

4 水は 育つのに いらない。

3 アリの くらしを よんで、正しい説明を1つえらびましょう。

アリは 土の中に すを 作り、たくさんの なかまと くらしします。えさを見つけると、においの 道をつけて、な
かまに 場しょを 知らせます。

1 アリは においで なかまに えさを 知らせる。

2 アリは 一ぴきで くらす。

3 アリは 木の上 に すを 作る。

4 アリは 音で 知らせる。

4 太陽の うごきを よんで、正しい説明を1つえらびましょう。

太陽は 朝 東から のぼり、昼に 高くなり、夕方 西に しずみます。この うごきに あわせて、かげの むきも かわ
っていきます。

1 太陽は 東から のぼり 西に しずむ。

2 太陽は 西から のぼる。

3 太陽は 一日中 同じ ところにある。

4 かげは 太陽と かんけいがない。

せつめい文の 正しい説明をえらぼう

小2／文章を よんで、内ように あう 説明を1つえらびましょう

なまえ _____

ひづけ _____

1 じしゃくの ふしぎを よんで、正しい説明を1つえらびましょう。

じしゃくは てつを 引きつけます。でも どうや アルミは 引きつけません。じしゃくには N きょくと S きょくがあり、ちがう きょくどうしは くっつきます。

- 1 じしゃくは てつを 引きつける。
- 2 じしゃくは どんな 金ぞくも 引きつける。
- 3 同じ きょくどうしが くっつく。
- 4 じしゃくに きょくは ない。

2 き節と こん虫を よんで、正しい説明を1つえらびましょう。

こん虫は さむく になると すがたを かくします。たまごや さなぎで 冬を こす ものが 多く、あたたかく になると また 出てきます。

- 1 こん虫は 冬を たまごや さなぎで こす。
- 2 こん虫は 冬に いちばん 元気に とぶ。
- 3 こん虫は 一年中 すがたが かわらない。
- 4 あたたかく になると こん虫は いなくなる。

3 たねから 実へを よんで、正しい説明を1つえらびましょう。

花が さいて、虫が 花ふんを はこぶと、実が できて たねが できます。たねは つぎの 年、また 芽を 出して 花を さかせます。

- 1 花→実→たね→また 花と つながる。
- 2 花は 実に ならない。
- 3 たねは 二どと 芽を 出さない。
- 4 虫は 花と かんけい ない。

4 たねの め生えを よんで、正しい説明を1つえらびましょう。

たねが めを 出すには、水・空気・てきとうな あたたかさが ひつようです。日光は めを 出した あとで、そだつ ために 使われます。

- 1 たねの め生えには 水・空気・あたたかさが いる。
- 2 たねは 水が なくても めを 出す。
- 3 め生えに 空気は いらない。
- 4 たねは あたためると こおる。